



展覧会概要

穎川美術館は、江戸時代から廻船業、山林業をいとなみ、長崎や上方文化の発展に寄与した大阪の商家穎川家の四代目穎川徳助（1899-1976）が設立しました。歴代家蔵の名品は戦災により灰燼に帰してしまいましたが、戦後、家業の復興に尽力するかたわら、美術品の収集に努め、多くの人々に公開するため、1973年に兵庫県西宮市に美術館を開館しました。

長次郎赤楽茶碗の代表作である名碗「無一物」(重要文化財)や織田信長所持と伝えられる肩衝茶入「勢高」(重要美術品)などの茶道具の名品、そして、伝 能阿弥筆「三保松原図」(重要文化財)をはじめとする室町絵画、池大雅・円山応挙・谷文晁などの近世絵画の収集で知られています。

本展覧会では、これらをはじめとする穎川美術館所蔵の名品 135 点を展示いたします。穎川美術館の名品が東京で公開されるのは 1984 年以來のことで、実に約 30 年ぶりとなります。

また、穎川美術館は茶道具の名品を多く所蔵することから、茶道文化に親しんでいただけるよう、会期中には呈茶会を開催いたします。展示とあわせてお楽しみください(詳細はチラシ・HP をご覧ください)。

30年ぶりの大公開

穎川美術館の名品

名碗「無一物」全期間展示

2016年
4月5日火
— 5月15日 日

前期 2016年4月5日[火]—4月24日[日]
後期 2016年4月26日[火]—5月15日[日]

※会期中、一部展示替えがあります。



開催概要

- 展覧会名 「潁川美術館の名品」
- 会期 2016 年 4 月 5 日（火）～5 月 15 日（日）
前期 2016 年 4 月 5 日（火）～4 月 24 日（日）
後期 2016 年 4 月 26 日（火）～5 月 15 日（日）
※会期中、一部展示替えがあります。
- 開館時間 午前 10 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）
※金曜は午後 7 時閉館（入館は午後 6 時 30 分まで）
- 入館料 一般 500（400）円・大学生 400（320）円・高校生 250（200）円
小中学生 100（80 円）・60 歳以上 250（200）円
※（ ）は、団体（10 名以上）のお客様が同時に入館される場合で、2 割引となります。
※障がい者とその付添の方各 1 名は無料です。
入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。
※土・日曜日、祝休日は小中学生無料、金曜日渋谷区民は無料です。
- 休館日 4 月 11 日（月）・18 日（月）・25 日（月）・5 月 9 日（月）
- 主催 渋谷区立松濤美術館
- 特別協力 公益財団法人潁川美術館
- 会場 渋谷区立松濤美術館
〒150-0046 東京都渋谷区松濤 2-14-14
電話：03-3465-9421
<http://www.shoto-museum.jp/>
- 交通案内 京王井の頭線神泉駅下車徒歩 5 分
JR・東京メトロ・東急電鉄渋谷駅下車徒歩 15 分



お問い合わせ 渋谷区立松濤美術館（担当：鈴木・大平 展覧会担当：味岡・平塚）

※広報に関するお問い合わせ（広報用画像もご用意しております。）

電話：03-3465-9421 FAX：03-3460-6366 E-mail：info@shoto-museum.jp

展覧会のみどころ

やまと絵

日本の美意識の極み



土佐光起「春秋花鳥図」 江戸時代 17世紀

やまと絵の代表的流派の土佐派を中興した土佐光起の作です。大画面を金雲で埋める構図は狩野派の形式である新しい要素ですが、一方で柔らかみのある描き方には、伝統的なやまと絵の優美な構図や色彩の感覚が見られます。

漢画・水墨画

水墨と禅文化の受容



伝 能阿弥「三保松原図」 室町時代 15世紀（重要文化財）

名勝・三保松原を描く本図は、墨の濃淡を巧みに使い分け、また金泥を刷いて大気の質感を表現することによって、奥行きのある空間を作り出しています。室町時代の水墨画には中国の山水を描くものが多いなか、日本の名勝の実景描写を試みた特筆すべき優品です。

南画

文人の教養としての芸術



池大雅「蜀山行旅図」 江戸時代 18世紀

南画とは江戸時代中期に中国の南宗画を日本的に解釈した絵画です。本図の壮大な構図と精細な筆致は、日本南画の大成者・池大雅の技量を示す作品です。

写生画

自然を写し描く力



森狙仙「雨中桜五匹猿図」 江戸時代 18-19世紀

森狙仙は猿の克明な生態描写に抜群の力量を示した画家として有名です。本図には風雨に散る桜の花びらに興味を抱いた猿たちが楽しげに戯れる様子が、生き生きと描かれています。

近代絵画

新たな時代の表現



竹内栖鳳「新涼図」 大正時代 20世紀

一筋の小さな流れの中に羽を休めようとする蜻蛉を、簡潔な筆致で描いています。動物や鳥の一瞬の動きを捉えることに長けた竹内栖鳳ならではの作品です。

書跡

気高き精神の表象



無準師範「墨跡 淋汗」 南宋時代 13世紀

無準師範とは中国・南宋時代の名筆の禅僧です。「淋汗」とは軽い入浴のことで、禅宗では入浴さえも精神性を高める修行の場とされていました。

工芸

名碗・名器たちの競演



長次郎「赤楽茶碗 銘 無一物（中興名物）」 桃山時代 16世紀（重要文化財）

楽焼の始祖長次郎の代表的な赤楽茶碗です。半筒形という楽茶碗の基本形をとっていますが、その中で最も端正なかたちをしており、また全体にかけられた透明の釉薬が所々白くなっているのも、古雅な味わいを醸し出しています。裏千家四代仙叟宗室（1622～97）所持の後、京都の清水藤太郎を経て、享和初年（1801）ごろには大名茶人松平不昧の所持となった名碗中の名碗です。

☆本展覧会では名碗「無一物」を全期間展示します。

浪花百景

商人の町・大坂の生活を描く

「浪花百景」は、幕末の大坂で活躍した浮世絵師歌川国員、六花亭芳雪、中井芳瀧の三人の合作になるシリーズものの浮世絵です。「天下の台所」と評されたように蔵屋敷や市場などが描かれ、まさに商人の町の生活を感じられます。本展覧会では全 101 点（「森の宮蓮如松」1 枚は欠失）のうち 18 点を展示します。

中井芳瀧「浪花百景ノ中 雑喉場」
江戸時代 19世紀



会期中のイベント

展覧会関連

◎講演会

4月17日（日） 午後2時～

「潁川美術館の茶道具」 林屋 晴三氏（公益財団法人潁川美術館 理事長）

※要入館料 ※事前予約の必要はありません。 ※直接、地下2階ホールへお越しください。

◎当館学芸員によるギャラリートーク

4月23日（土）、4月29日（金）、5月6日（金） 午後2時～

※要入館料 ※事前予約の必要はありません。

特別イベント

◎呈茶会

①特別呈茶会（亭主：林屋晴三氏・協力：渋谷区茶道連盟）

4月24日（日） 午後1時～／午後3時～

※往復はがきでお申し込みください。応募者多数の場合は抽選となります。

②呈茶会（裏千家 柴田宗知社中）

5月1日（日）、3日（火・祝）、4日（水・祝）、5日（木・祝） 午後1時／午後3時～

※当日、整理券を配布します。

③特設呈茶会（亭主：松田展子氏）

5月15日（日） ※開始時間は決まり次第、美術館 HP に掲載いたします。

※当日、整理券を配布します。

※①～③いずれも、

- ・詳細は美術館 HP でご確認ください。
- ・立礼による茶会です。
- ・定員：各回 20 名
- ・参加費は無料（要入館料）

◎ピアノコンサート

5月7日（土） 午後2時～

出演：中川賢一氏

※要入館料 ※定員 80 名 ※事前申し込みが必要です。詳細は美術館 HP でご確認ください。

次回展のご案内

「中島千波とおもちゃシリーズ 画家のひみつ」

5月31日（火）～7月10日（日）